

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立中濃特別支援学校		
実 施 期 間	平成25年12月14日(土)		
実 施 概 要	<p>学習発表会の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部による「喫茶サービスの提供」「作業製品の販売」 ・和太鼓部、音楽部による学習発表 ・地域支援センターによる親子教室の実施 ・PTA、同窓会による物品及び食品の販売 ・おやじの会によるたこ焼き及びサツマイモの配布 ・学校職員、ボランティアによる「遊びコーナー」 ・ボランティア団体による、ボランティアコーナー ・「児童生徒の作品」「紙と光のアート作品」の展示 		
実 施 内 容	<p>学習・取組の分野</p> <p><input type="checkbox"/>自然 <input type="checkbox"/>歴史 <input type="checkbox"/>文化 <input type="checkbox"/>産業 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>		
	<p>公開の方法</p> <p><input type="checkbox"/>授業公開 <input checked="" type="checkbox"/>成果発表 <input checked="" type="checkbox"/>交流活動 <input type="checkbox"/>講演会等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域行事等参加 <input type="checkbox"/>その他</p>		
来 校 者 数	保 護 者	200人	計 350人
	地 域 関 係 者	150人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部の学習発表 <p>高等部の生徒が作業学習で作成した陶器、園芸製品、布製品、木製品の販売を行った。また、一昨年から活動している喫茶サービスにより、来校者に接客の学習を行った。喫茶サービスコーナーには約160人が訪れたが、生徒達が自分の活動を理解して、落ち着いて業務を行うことができた。</p> ・部活動の学習発表 <p>和太鼓部は高等部3年生が長胴太鼓を、他の学年と中学部生徒が締め太鼓を担当し「中濃太鼓」「前進」の2曲を披露した。音楽部は活動の様子をビデオで紹介し、ビデオで流れる音楽に合わせて、会場内の参観者もダンスをして楽しんだ。</p> ・PTA、同窓会によるバザー <p>PTAでは行事委員と厚生委員を中心に食品や物品のバザーを、同窓会コーナーでは卒業生の就労先でもある複数の団体が食品や物品の販売を行った。ボランティアの方々のおかげでスムーズに販売ができ、ほぼ完売であった。</p> ・おやじの会の活動 <p>全児童生徒に、できたてのたこ焼きを配付した。また、秋に行ったおやじの会の行事で、子どもたちと収穫したサツマイモを配付した。引き替え所には長蛇の列ができていた。</p> 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びコーナー ボールプール、ストラックアウト、魚釣り、玉入れ遊びを行った。小学部児童、中学部生徒、来校したその兄弟姉妹等に好評だった。 ・ボランティアコーナー 数年来協力いただいているボランティア三団体（関市老人クラブ連合会女性部、向山町長寿会、松ぼっくりの会）が、それぞれコーナーを担当した。各団体の方々には、毎年のように企画に携わり、馴れた進行で来校者を楽しませていただいた。 ・作品展示 作品展示コーナーにおいて、児童生徒の平面作品（リース、フォトフレーム、和紙画など）を展示した。また本校が特色ある活動として取り組んでいる和紙を用いた「紙と光のアート作品」を点灯して展示し、来校者に鑑賞していただいた。
<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と家族、卒業生、旧職員、教育実習生など学校関係者だけでなく、県立ひまわりの丘関係者、大勢の地域の方々に来校していただいた。児童生徒も加えると、総勢は約600人となり、笑顔や会話に満ちた楽しい雰囲気であった。来校者や保護者の方々から、「参加できてよかった」「楽しかったです」という声が多く寄せられた。 ・PTAバザー販売、遊びコーナー、ボランティアコーナーでは、PTAボランティア養成講座の修了生、ボランティア団体、バス添乗員、給食配膳員の方々に協力していただいた。ボランティアとして毎年のように参加していただけている方も多く、終了後のボランティア協力者の方々の感想から、様々な遊びやバザー販売でのやりとりを通して、児童生徒や保護者への理解をより一層深めていただけたと感じられた。 ・喫茶サービスでは、昨年度のような混雑を避けるために、一部でセルフサービスを取り入れた。混雑が解消し、担当した生徒も自分の動きが明確となり、落ち着いて業務をこなすことができた。また、作業製品の販売やPTAのバザー等においても、人の流れを意識した配置を行い、混乱することなく安心・安全に進めることができた。 ・来校者駐車場として、中部学院大学駐車場と県立ひまわりの丘グラウンドを、職員駐車場として関特別支援学校駐車場をお借りした。周りの学校や施設にご協力いただくことで、集客を伴う本校の催しを行うことができることを改めて認識した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも、催し物の案内を地域の学校、自治会、長寿会等に直接手渡ししてお知らせし、PTAボランティア養成講座の修了生をはじめ様々な形でボランティア協力者を募り、多くの人々に学校への関心をもっていただきながら、人と人との絆をつないでいきたい。